令和4年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

*厚生労働省では、基本目標>施策大目標>施策目標を設定して、政策を実施しています。

92.8%

94.1%

92.9%

90.4%

(アウトカム)

(厚生労働省4(VI-3-1))

(参考)令和2年度実績値92.9%は、都道府県ごとの集計値の平均

そのため、ものづくりマイスターを活用した機関が活用後も職業能力

開発に取り組む契機となったかを指標として選定した。

施策目標名(政策体系上		技能継承・振興のための施策を推進すること(施策目標 VI-3-1) 基本目標VI 労働者の職業能力の開発及び向上を図るとともに、その能力を十分に発揮できるような環境整備をすること									担当 部局名	人材開発統括官	作成責任者名	参事官(能力評価担当) 山地 あつ子		
		施策大目標3 「現場力」の強化と技能の継承・振興を推進すること									HE WAS EL					
		・本施策は、技能継承・振興のための施策を推進するために実施している。														
		【1. 熟練技能者を活用した技能継承、技能尊重気運の醸成等】 若年技能者が技能を向上させる、又は若者が進んで技能者を目指す環境の整備等に取り組むため、ものづくりに関して優れた技能・経験を有する「ものづくりマイスター」が、企業、業界団体、教育訓練機関において、若年技能者への実技指導の実施している。														
施策の概要		【2. 各種技能競技大会等の推進】 ・ 技能者に技能向上の目標を与えることにより、効果的な技能習得意欲の向上、ものづくり分野の裾野の拡大や技能者の社会的評価の向上を図るとともに、若年者を始めとした国民各層に技能の素晴らしさ、重要性を深く浸透させることによ 技能尊重気運の醸成を図るため、以下の技能競技大会の実施及び参加を行っている。														
		① 若年	者ものづくり	競技大会	職業能力開発施設、工業高校等において技能を習得中の若年者(原則20歳以下)で、企業等に就職していない者を対象に、技能競技を通じ、これらの若年者に目標を付与し、技能を向上させることにより、就業 促進を図り、あわせて若年技能者の裾野の拡大を図ることを目的として実施する大会。											
		② 技能	五輪全国大	 会	国内の青年技能者(原則23歳以下)を対象に技能競技を通じ、青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能に身近に触れる機会を提供するなど、広く国民一般に対して技能の重要性、必要性をアピールし、技 能尊重気運の醸成を図ることを目的として実施する大会。											
		③ 技能五輪国際大会 青年技能者(原則22歳以下)を対象に、技能競技を通じ、参加国・地域の暗							加国・地域 <i>の</i>	つ職業	 業訓練の振興及び技能水準の向上を図るとともに、国際交流と親善を目的として開催される大会。					
			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・													
施策実現のための背	↑景・課題	1	 ・ 持続的な	経済成長	- 長を続けるためには、高度な技能労働者の育成が不可欠だが、若者のものづくり離れ・技能離れが見られる状況。											
			特に、建	・特に、建設業、製造業の技能労働者不足が問題となっており、若年層の技能への関心を高め、技能継承に向けた取組や技能労働者の育成をより一層進めていく必要がある。												
		達成目標/課題との対応関係										達成目標の設定理由				
各課題に対応した達成目標		目標1 技能継承・振興の取組の推進 (課題1)									優れた技能を継承・発展させるためには、企業や地域等の技能継承・振興への取組の促進や、「技能」の重要性・魅力の発信などの技能継承・					
											振興の取組を推進し、若年者が進んで技能者を目指す環境を整備する必要がある。					
達成目標1について																
測定指標(アウトカム、アウトプット)		+**			年度ごとの目標値(参考値) 年度ごとの実績値						河中长年入港中市土					
※数字に〇を付した指標		基準値	基準年度	目標値	目標年度	平成30年	• •	令和2年 令和	日3年 令和度 角	 4年 ₹		測定指標の選定理由		目標値(水準・目標年度)の設定の根拠 		
	ものづくりマイスターの活用を契機として、技能検定又は技能競技大会を人材育成に活用した企業又は業界団体の割合	会	平成29年	85%		85%	85%	85% 8	5% 85		経験を有するなどの	スター制度は、ものづくりに関して優れた技能、豊かな ごの条件を満たす者を「ものづくりマイスター」として認		1年度は、過去の実績等を踏まえ85%を目標値として設定し		
(1) を人材育成に活用 界団体の割合					令和4年度						や後継者となる技能を	界団体、教育訓練機関等に派遣し、若者へ者の育成、若者の意識啓発等を行う事業で	「業である。 代へのる	毎年度高い実績値となっているが、対象者が変わる中で次世 催実な技能継承・振興のためには、高い実績値を維持し続ける 義があるため、妥当であると考える。		

2	を 技能五輪全国大会の来場者数 (アウトプット)		75,000人	平成27年 度	84,000人	令和4年度			<u>-</u>	<u> </u>	_	84,000人	本施策が企業の料 心を維持・拡大し、技 ができているか把握 て選定した。	将来を担う若年者における優れた技能に 能の素晴らしさ、重要性をより深く浸透さ するため、技能五輪全国大会の来場者を	・ 令和4年度は、過去の中央開催実績を踏まえ目標値として設定。 ・ 令和4年度は、過去の中央開催実績を踏まえ目標値として設定。 ・ 来場者を指標とし (参考)平成27年度:75,000人、平成25年度:68,000人。		
;	3級技能検定(ものづくり職種)の受 3 検者数 (アウトプット)		44,385人	平成29年 度	40,806人	、 令和4年度		前年度 (44,385人) 以上 47,656人	前年度 (47,656人) 以上 47,719人	止を考慮)以上	46,586人	40,806人	継承のための入り口・特にものづくり職種	主に学生等の若年者を受検対象としてるとなるものである。 重の受検者数により、地域による若年者率的に行われているか把握できるため打	に対する技	・ 令和4年度は、過去	3カ年平均から40,806人と設定した。
	達成手段1			令和3年度 予算額 執行額	令和4年度 予算額	関連する 指標番号		達成手段の概要、施策目標達成への寄与の内容等							令和4年度行政事業レビュー事業番号		
(-		技能継承・振興対策費(ものづくり立国の推進)	49億円 (※)	40億円	36億円		②卓越した	りマイスター 技能者の表述 を実施してい	彰や技能五	と伝承、地域に 輪国際大会等	こおける技育 等の技能競	能振興の取 技大会の9	組、若者のものづくり? 尾施を通じた、学校段降	う野への積極的な誘導の推進 も含む若年者に対する「技能」の重要性	℄・魅力の多	巻信の推進	
(1)	17	(平成10年度)	53億円	38億円	これらの事業を通して若年者が進んで技能者を目指す環境を整備することで、優れた技能の継承・発展に寄与する。												
	施策の予算額(千円)		令和2年度				令和3年度					令和4年度					
			4,914,325					3,994,987					3,616,793		」 政策評価実施予定 時期	令和5年度	
	施策の執行額(千円)			5,269,370					3,783,577								
	施策に関係する内閣の重要施策		施政方針演説等の名称					年月1				年,	月日 関係部分(概要·記載領			係部分(概要・記載箇別	f)
(施政方針演説等のうち主なもの)					_	-					_			-			